

R P P Cメール

リサイクルポート推進協議会

第575号（平成27年4月15日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について
2. 第3回 広報部会の開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 平成27年度予算が成立、港湾関係費は総額2377億7600万円
2. 石狩湾新港の改訂を地方港湾審議会が了承、再生資源の取扱施設など
3. 国土交通省、浚渫土砂利用の技術事例集（案）を検討

=====

1. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日時：平成27年4月24日（金） 場所：みなと総研3階会議室

13：30～14：30 WG②、WG⑥

14：30～15：30 WG①

*時間につきましては、今回はいつもと異なりますのでお気を付け下さい。

なお、WG③・④につきましては別途日程調整予定のため未定です。

2. 第3回 広報部会の開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日時：平成27年4月28日（火） 場所：みなと総研3階会議室

15：00～17：00

【事務局】

=====

1. 平成27年度予算が成立、港湾関係費は総額2377億7600万円

平成27年度予算が4月9日成立し、港湾局関係予算は総額2377億7600万円となった。内訳は港湾整備事業が2283億円（直轄1881億円、補助401億円）、港湾海岸事業が94億円（直轄同）。このほか復興庁分の港湾整備事業費として290億円が計上されている。

27年度予算では、①東日本大震災からの復興加速、②成長戦略の具体化、③国民の安全・

安心確保、④地域の活性化、といった4分野の取組みを推進する事業に重点配分している。

新規事業としては、▽茨城港常陸那珂港区国際物流ターミナル事業（総事業費65億円、整備完了目標32年度）、▽名古屋港ふ頭再編改良事業（182億円、33年度）、▽境港ふ頭再編改良事業（93億円、31年度）、▽広島港ふ頭再編改良事業（62億円、30年度）、の4件が認められており今年度から事業着手していく。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 石狩湾新港の改訂を地方港湾審議会が了承、再生資源の取扱施設など

石狩湾新港地方港湾審議会が3月に開催され、同港の港湾計画改訂案が了承された。今後は7月頃に開催が見込まれる国の交通政策審議会港湾分科会に上程して計画決定する予定。

目標年次（平成40年代前半）における取扱貨物量は外貿900万t、内貿490万tの合計1390万t。改訂計画では再生資源の取扱施設などを位置付けている。

公共埠頭計画では取扱貨物の集約化に対応するとともに、金属くず等の外内貿ばら積み貨物の取扱施設として、東地区に水深12m岸壁1バース延長240m、埠頭用地12haを新規に計画。東ふ頭の前面を埋め立てて整備する。

また西地区では再利用資材や石灰石等の外内貿ばら積み貨物を取扱うため、水深12m岸壁1バース延長240mを新規に計画している。

このほか廃棄物処理計画として、港湾浚渫土砂を埋立処分するため東地区に海面処分用地25ha、中央地区に17haを計画している。

【港湾空港タイムス】

.....

3. 国土交通省、浚渫土砂利用の技術事例集（案）を検討

国土交通省は今年度、港湾内の埋立柱として浚渫土砂を利用する際の留意点や処理方法等に関する検討を進め、技術事例集（案）を作成する方針。自然由来による汚染土が含まれている浚渫土砂の処分手法等についてまとめる。

港湾区域での埋立は、海洋汚染防止法等で規定される基準に基づき行われているが、改正土壤汚染対策法（土対法）の施行に伴い、自然由来の土壤汚染が規制対象となっている。

一方で港湾機能を維持・強化していくためには、浚渫事業を着実に進めて行く必要があり、発生土砂の適正な処分が求められている。

このため今年度は、将来的に発生することが想定される浚渫土砂量を推計した上で、埋立柱の利用実態、改正土対法施行後の埋立造成手法の事例、各自治体での規制実態等を整理する。そして浚渫土砂の処分や埋立土地利用にあたり、自然由来汚染土壌に関する課題を抽出し、対応策を検討する。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

加賀谷 聡一 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鋳（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####